

第34回 山梨県図書館大会 教育長祝辞

皆さん、こんにちは。本日は第34回山梨県図書館大会の開催、誠におめでとうございます。山梨県公共図書館協会の皆様方には、日頃より図書館活動を推進され、本県教育の充実・発展に多大なご貢献をいただいております。心から感謝申し上げます。

山梨県図書館大会は、昭和59年の第1回大会以来、関係する様々なお立場の方々が一堂に会し、図書館の整備充実、サービスの向上などについて議論を重ねられ、本県の図書館活動の振興に大きく寄与してまいりました。

今年度は感染症対策のため、県立図書館をはじめ多くの公共図書館が一時は閉館を余儀なくされ、その間、読書や情報へのアクセスなど様々な体験の場の提供が不十分とならざるを得ませんでした。しかしながら、このことはかえって図書館の意義を再確認する機会となったように思います。

現在図書館は、皆様方のご努力により様々な対策が徹底され、通常の状態に戻りつつありますが、そのような状況の中で、電子書籍や動画の配信、デジタルアーカイブなど、「来館せずに利用出来る図書館サービス」にも注目が集まる傾向が生まれています。

今年の大会テーマは「新しい時代の図書館～変わる事変わらない事～」です。社会の大きな変革期にあって、図書館が利用者のニーズにどのように応えていくのか、何を変え、何を変わらずに守っていくのか、このことはたいへん大きな課題であります。

本大会におきまして、基調講演や分科会での知見を受信され、図書館の未来を考えられますことは、誠に意義深いことでもあります。県教育委員会では、様々な情報の提供はもちろん、皆様と連携を深めながら、新しい時代の図書館づくりに向けた取り組みを支援して参りたいと考えております。

本大会の主催者であります、山梨県公共図書館協会、甲府市、甲府市教育委員会の皆様には、大会開催にあたりたいへんのご尽力をいただきました。今回の大会はオンライン配信での開催ということで、例年になくご苦労もあったと思います。心から感謝申し上げます。

結びに、これからの図書館活動の益々のご発展と、ご参会の皆様のご健勝を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。